

漱石 建物の記憶



入場
無料



平成28年

2月7日 日

14:00 開演 (13:15 開場)

四谷区民ホール

(新宿区内藤町 87 四谷区民センター 9 階)



博物館明治村
二重橋飾電燈

第1部 講演

I 「文豪と間取り」

デザイン評論家・武蔵野美術大学教授 柏木 博

II 「漱石山房記念館について」

早稲田大学名誉教授・博物館明治村館長 中川 武

第2部 シンポジウム

「漱石の東京」

作家 (第151回芥川賞受賞) 柴崎 友香

柏木 博、中川 武、新宿区長 吉住 健一

(コーディネーター 朝日新聞記者 牧村健一郎)



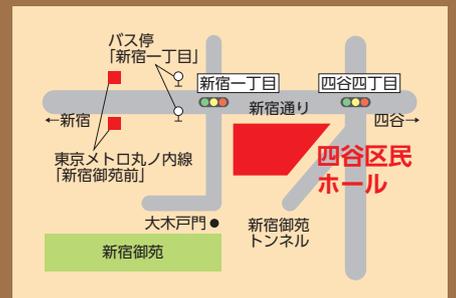
博物館明治村：森鷗外・夏目漱石住宅

申し込み方法

催し物名(「2月漱石イベント」)、郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、希望人数(応募者含め最大2名まで)を記入し、はがきまたはFAXで下記までお送りください。

応募締め切り 平成28年1月7日(木) 必着

- はがきは往復はがきでなくて結構です ● 小学生までは保護者同伴をお願いします(2名希望と記入)
- 応募者多数の場合は、抽選で300名様程度をご招待します。抽選結果は、入場券の発送(1月中旬)をもって代えさせていただきます(当選者のみお知らせ)
- 応募に関する個人情報は、主催者が適切に管理し、本イベントのみに利用します



申し込み先
問い合わせ先

新宿区地域文化部 文化観光課 文化資源係

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 本庁舎1階

電話 03(5273)4126 FAX 03(3209)1500

▶新宿区公式HP <http://www.city.shinjuku.lg.jp/>

主催

新宿区
SHINJUKU CITY

共催

朝日新聞社

第1部

講演

新宿区夏目漱石記念施設の完成は平成29年9月となりました。『日記で読む文豪の部屋』の著者である柏木博氏には、漱石作品に出てくる建物と間取りから読み解く登場人物の心理や作品の魅力を語っていただきます。また記念施設建設に深く関わる中川武氏には、記念施設の概要や、自らが館長を務める博物館明治村に保存されている漱石と森鴎外の旧宅について解説してもらいます。



柏木 博

Hiroshi Kashiwagi

昭和 21 年兵庫県生まれ。デザイン評論家、武蔵野美術大学教授（美学美術史研究室）。平成 6 年文化庁芸術選奨選考委員。平成 10 年文化庁メディア芸術祭審査員。

著書に『ファッションの 20 世紀』（日本放送出版協会）、『探偵小説の室内』（白水社）、『デザインの教科書』（講談社）、『日記で読む文豪の部屋』（白水社）他多数

中川 武

Takeshi Nakagawa

昭和 19 年富山県生まれ。建築史家、早稲田大学名誉教授、博物館明治村館長。日本国政府アンコール遺跡救済チーム（JSA）団長。著書に『日本の家～空間・記憶・言葉』（TOTO 出版）、『よくわかる日本建築の見方』（JTB パブリッシング）、『日本の古建築～美・技術・思想』（青土社）他多数



第2部

シンポジウム

漱石が描いた関東大震災前の東京。江戸の香をわずかに残す文明開化の街が登場人物たちの舞台でした。第1部で講演をされたお二人に、漱石の住んだ東京に憧れて東京に創作拠点を移し、小説『春の庭』で芥川賞を受賞した作家の柴崎友香氏と吉住健一新宿区長を加え、漱石作品に出てくる東京と現代東京の魅力や、作品そのものについて独自の視点で語っていただきます。



柴崎友香

Tomoka Shibasaki

撮影：川合穂波

昭和 48 年大阪府生まれ。平成 12 年『きょうのできごと』で小説家デビュー。平成 19 年『その街の今は』で第 57 回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第 23 回織田作之助賞大賞、第 24 回咲くやこの花賞受賞。平成 22 年『寝ても覚めても』で第 32 回野間文芸新人賞、平成 26 年『春の庭』で第 151 回芥川賞受賞。

その他の著者に『青春感傷ツアー』『また会う日まで』『ドリーマーズ』『わたしがいなかった街』『星よりひそかに』『きょうのできごと、十年後』『パノララ』エッセイ集『よう知らんけど日記』他多数

(仮称)「漱石山房」記念館について

新宿区は夏目漱石が生まれ育ち、その生涯を閉じたまちです。

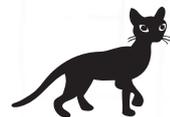
漱石生誕150周年の平成29年(2017)9月開館を目標に、(仮称)「漱石山房」記念館の整備を進めています。

記念施設

整備基金について

新宿区では、記念館の整備に多くの方々のご参画をいただきたいと考え、「夏目漱石記念施設整備基金」を設置、平成25年7月から寄付の募集を開始し、6,530万7,000円(1,242件)(平成27年11月20日現在)のご寄付をいただいております。ご厚志をお寄せいただきました皆さまには心より御礼申し上げます。引き続き、皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。基金への寄付方法など詳しいことは、新宿区文化観光課文化資源係まで。

参加申し込み方法



● FAXで

フリガナ		希望人数	○を付けてください	1名 ・ 2名
氏名		電話番号		
住所	〒			

FAX番号

03-3209-1500

※切り取らずにそのまま送信してください。

● はがきで

- ① 催し物名【2月漱石イベント】 ② 郵便番号 ③ 住所 ④ 氏名(フリガナ)
⑤ 電話番号 ⑥ 希望人数(応募者本人を含め、最大2名まで)

を記入し、下記宛先までお送りください。

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1 新宿区地域文化部文化観光課文化資源係 宛

申込期間

平成28年1月7日(木) 必着

募集案内は「広報しんじゅく」や区ホームページにも掲載いたします。

※応募多数の場合は抽選となります。(当選者のみお知らせ)

※受付の順番は抽選に一切関係ありません。